

2022年7月7日 第425号

# 憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター  
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)  
<http://www.kyodo-center.jp> mail: [move@zenroren.gr.jp](mailto:move@zenroren.gr.jp)

**要求実現のため、投票に行こう！**

## 改憲を許さないため、改憲勢力に2/3は渡さない

参院選の投票日まであと3日。改憲や大軍拡を許さないため立憲野党の議席を増やし、改憲派の議席を3分の2割れに追い込むためがんばりましょう。私たちの要求を実現させるため、投票に行って、いのち・くらしを守る政治に転換しましょう。

### ●憲法改悪に反対する東京共同センター

自民党茂木敏充幹事長は6月28日の報道番組で、日本維新の会などが求める改憲のための国民投票の早期実施への対応を問われ、「スピード感がなかったら、いつになっても変わらない状況が続く」と、「例えば1年以内、2年以内にやろうということも含めて、主要政党間でスケジュール感を共有することが重要ではないか」と述べた。参院選後に議論を加速させたい考えを示した。また、自民党の木原稔政調副会長も6月28日夜のニコニコ動画主催のネット番組で、今回の参院選後は3年間国政選挙がないとして、「3年間、しっかりと腰を据えて憲法改正の発議を必ず実行したい。そして国民投票を必ず成功に導きたい」と改憲に向け強硬な姿勢を表明した。

改憲政党は参議院選挙の公約に、憲法に自衛隊を明記する改憲やコロナ感染やウクライナ侵略等をあげての「緊急事態条項の創設」を掲げ、参議院選挙後の改憲発議に向けた発言を繰り返している。

参議院選挙もいよいよ終盤戦。東京選挙区は定数6議席を35人が争う大激戦となっている。自民党、公明党、日本維新の会、国民民主党など改憲勢力に議席を独占させるわけにはいかない。

私たち東京憲法共同センターは、2月10日以来衆参の憲法審査会の傍聴を取り組んできたが、衆議院の毎週開催に対して、参議院は毎週開催や、オンライン国会の取りまとめはさせていない。それは、立憲民主党・社民党の9人と日本共産党3人という数の力と論戦によるところが大きかった。参議院選挙でこの数を維持したい。

今回東京選挙区に立候補している山添拓参議院議員は、4月13日には、「憲法審が開かれれば新型コロナを理由にオンライン出席が必要だと議論を開始し、さらに緊急事態条項に進み、9条の議論に踏み込んだ。



次々と改憲項目のすり合わせに向かうことが、審議を通じて明らかになった」と批判。「やはり憲法審は動かすべきではない」と指摘するなど共産党の幹事として大奮闘されてきた。

6月8日の議員要請行動では、山添議員本人が要請書を受け取り、「13時から参議院憲法審査会で合区問題の参考人質疑があったため、署名提出集会に参加できなかったことは残念だ」と語り、「改憲や軍備増強を許さない運動を協力して進めたい」と述べ、参加者を激励した。

選挙戦終盤を迎え、世論に変化が生まれている。物価高騰への無策の一方、大軍拡と改憲ありきの自民・公明・維新に対し不安と不満が急拡大している。みんなで投票所に足を運び、怒りの1票を。(憲法ニュースより)

## ●東京・足立

### 東京で初めての九条の碑完成 平和への願いこめ 輝く球体



6月19日、九条の碑の除幕式、完成のつどいが開かれました。「九条の碑を建立する会」が活動を始めて約1年半。足立区内外の800を超える個人・団体から500万円以上の募金が寄せられ、医療法人財団健和会の協力で柳原リハビリテーション病院の隣接地に、直径1メートルのステンレス製の銀色に輝く球状の碑が完成しました。九条の碑は東京では初めてで、国内では24番目です。

200人近い参加者の熱い視線が向けられるなか、白い幕が外され球状の碑が姿を現すと、大きな拍手が沸き起こりました。碑の頂部に数字の「9」、球面の周囲には憲法9条1・2項がピンク色の字体で刻まれています。鏡のような表面には碑文を読む人の姿が映り、「平和を自分のこととして考えるきっかけに」との思いが込められています。

除幕式で「九条の会」事務局長の小森陽一・東京大学名誉教授は、ロシアのウクライナ侵略に触れ「ロシアの東の隣国は日本。憲法で『戦争をしない』と決めた日本が『国際法違反の戦争をするな』と主張していくことが大事」と述べました。

除幕式に続く完成のつどいでは、国際ジャーナリストの伊藤千尋さんが「軍事力で国を守るということは国境線の内側は守るが、外側は殺しても良いということ。これでは戦争はなくなる。最初から戦争をしない世界をつくるための象徴となるのが九条の碑だ」と呼びかけました。橋本のぶよさん、中川游子さんの歌声、ギターやトランペットの演奏、碑の建立に関わった団体代表や地元の人たちから碑の完成を祝うスピーチがありました。



「建立する会」共同代表の大滝慶司・区労連議長は、「碑は完成したが、これで終わりではない。

ロシアによるウクライナ侵略を口実にした九条改憲・憲法破壊の動きが強まっている今こそ、この九条の碑を大いに活用して、足立から、憲法九条の理念、平和を発信していこう」と訴えました。(東京革新懇 mailfax ニュース)

## ●埼玉 選挙に行こう！ 投票率アップ＝野党が勝利の方程式

参院選公示日直前、6月19日投票で行われた杉並区長選挙で、立憲民主党、日本共産党、社民党、れいわ新選組、生活者ネット、緑の党、新社会党が推薦した岸本聡子氏が現職を187票の僅差で破って当選。投票率は前回比5.5ポイント上がりました。2019年の参院選では、投票率ベスト10のうち、7県で野党が勝利しました。しかもベスト5は全部野党が独占。ここから投票率アップは野党の勝利という「方程式」をみることはできないのでしょうか。選挙に行こう！

### 猛暑にオール埼玉が宣伝

今シーズン最高の猛暑日となった7月1日、浦和駅東口でオール埼玉総行動実行委員会が「選挙に行こう！」宣伝に取り組み、48人が参加しました。

小出実行委員長をはじめ、会の役員がリレートークを行い、「参院選は憲法や暮らしにとっても大きな影響を与えるので、必ず投票に！」と訴えました。30分で9条ティッシュ200個を渡すことができました。

### 選挙の時こそアピールを

「戦争させない！埼玉の会」や「野党共闘をすすめる埼玉女性の市民連合」は、選挙中であってもいつも通り、毎週金曜日に浦和駅東口で宣伝行動に取り組んでいます。

今回の参院選は憲法改定も争点となり、「暮らしと平和」に大きな影響を与えることを訴えながら、棄権防止を呼びかけています。

さいたま市緑区の「9条の会」や「憲法共同センター」は、朝、昼、晩の3回に分けて連日宣伝カーで要求を訴え、駅頭宣伝にも取り組んでいます。(埼玉憲法会議ニュースより)



### ●当面の行動

- 7月14日(木) 総がかり行動 ウィメンズアクション 18時～ 有楽町イトシア前
- 7月19日(火) 総がかり行動 19日行動 18時30分～ 国会議員会館前
- 7月22日(金) 総がかり行動 署名宣伝 18時～ 新宿駅西口